

実践活動事例

団体名：米沢市立南原中校区少年非行防止地域ネットワーク

1 事業名 「Peace of Minamihara (ピース オブ ミナミハラ)」

2 事業主体 米沢市立南原中校区少年非行防止地域ネットワーク

3 事業目的

南原中学校区の小・中学校、高校（南原中学校、南原小学校、関小学校、興譲館高等学校の子ども達と地域の大人が一体となり、南原地区の子ども達のいじめ・非行防止や健全育成、安全安心なまちづくりのための活動に取り組む。(平成27年6月設立、27・28年度実施)

4 主な活動（地域の大人と一緒に活動）

- ・あいさつ運動
- ・花いっぱい運動
- ・中学生と大人との対話集会
- ・地域清掃活動
- ・地域高齢者とのふれあい活動（お宅訪問）
- ・地域広報活動

5 実践例から見えた成果

・花いっぱい運動の実践から

区内を花でいっぱいになりたいという中学生からの提案があった。しかし予算がなく難航。その話を聞いた地区の大人たちが、花の種を寄付し、育て方も中学生に伝授し、その輪が広がっていった。

・中学生と大人との対話集会の実践から

中学生と地域の大人が同じフィールドで、「いじめ・非行防止」の視点から、「言われて嫌な言葉」、「ネットの使い過ぎ」について話し合いを行った。お互いに家族以外の子どもや大人と接し、一緒に啓発標語をつくることで、新たな輪ができ、考えが深まった。

6 今後の対応

どの事例でも、大人からだけの呼びかけだけではなかなか活動が広がらないが、子どもたちが主体的に発案し動き出すような仕掛けをすれば、周りの実行力のある大人が動き活動の輪が広がる。

今後も、「子どもが動くと大人が動く」→「子どもを動かすことで大人も動かす」視点を大事にしながら、「いじめ・非行防止」活動を広げていきたい。